

## アカカベグループ約2,400名に「カンリー福利厚生」を導入

大阪府内への集中出店を活かした「自社割DX」で店舗間の相互送客を活性化。  
地域の健康インフラを支える人材の採用・定着力の強化

株式会社アカカベホールディングス(本社:大阪府大東市 代表取締役社長 皆川 友範、以下アカカベ)は、株式会社カンリー(本社:東京都品川区 代表取締役Co-CEO 辰巳 衛/秋山 祐太朗、以下カンリー)が提供する従業員向け福利厚生サービス「カンリー福利厚生」を、当社が運営する「ドラッグアカカベ」「アカカベ薬局」「ケアーズ」をはじめとする全グループ各社に導入しました。



本導入により、アルバイト・パートを含む全従業員約2,400名がスマートフォンアプリ一つで自社割(従業員割引)や全国の割引優待が利用可能となります。従来のアナログ運用をアプリ化することで、現場の負担を軽減しつつ、大阪府内に集中出店する当社グループの地域密着の強みを活かした店舗間の相互送客を活性化。地域の健康インフラに貢献する人材の定着・エンゲージメント向上を図ります。

### 導入の背景:「地域医療への貢献」を支える人材定着への取り組み

当社は1954年に大阪市城東区に創業。ドラッグストアおよび調剤薬局の運営を主力事業として大阪府内にグループを含め、119店舗を展開しています。メイン事業の他に高齢者向け配食事業、企業主導型保育園の運営など多岐に渡る関連事業も展開。地域の暮らし、健康、医療を支える地域密着企業として、お客様からの厚い信頼を集めています。

「あってよかった、を一人ひとりに。」というミッションのもと、地域の皆様、お客様、そして働く従業員から「アカカベがあつてよかった」と言ってもらえる企業を目指す当社では、「アカカベで働くからこそ得られる付加価値」を感じてもらえる福利厚生制度のさらなる充実に取り組んでいました。その一方で、従業員割引制度の運用が複雑になっていたこともあり、レジ処理・確認・管理工数が店舗の負担となっていました。

これらの課題を解決し、全従業員が雇用形態・勤務地を問わずに公平に優待を享受できる環境を整備するため、地図UIで直感的に割引優待を探せる「カンリー福利厚生」と自社割DXを組み合わせた導入を決定しました。

## 導入の決め手と期待される効果

当社が「カンリー福利厚生」を採用した決め手は、グループ横断の福利厚生を“現場負担なく、使われ続ける仕組み”として実現できる点にあります。主な決め手は以下の4点です。

### ■地図UI×アプリによる直感的なユーザー体験

従業員は現在地や勤務店舗付近の優待店舗をすぐに検索・利用可能。紙の割引券や手続きが不要で、日常的に使いやすい体験を実現。

### ■自社割のDX化による統一運用とセキュリティ

手動で実施していた従業員割引をアプリ上で一元管理。曜日・時間帯・回数などの条件設計も柔軟に設定でき、スクリーンショット防止などのセキュリティ機能も完備。

### ■大阪府内への集中出店を活かした店舗間の相互送客

大阪府内を中心に出店している特性を活かし、従業員が勤務先以外の店舗も日常的に利用しやすい環境を実現。ブランド理解と愛着を深め、エンゲージメント向上に寄与。

### ■本部・店舗の運用負担を抑えた設計

問い合わせ対応をカンリー側で受け付ける体制など、当社の管理部門・店舗双方の運用負担を軽減。店舗の運用工数を増やすことなく、公平な福利厚生を提供。

## カンリー福利厚生について

「カンリー福利厚生」は、スマートフォンアプリを通じて、従業員が現在位置から利用可能な割引優待を即座に検索し、何度でも利用できる次世代型の福利厚生サービスです。

地図情報の一元管理サービスで培ったカンリーの知見を活かし、全国130,000店舗以上の膨大な地図データと連携することで、従来のような紙のクーポン持ち歩きや社員証の提示を不要にする「自社割DX化」を実現。アルバイトやパート、派遣スタッフといった雇用形態や働く場所に縛られることなく、すべての従業員が等しく恩恵を受けられる仕組みを構築することで、現代の企業課題である採用力の強化とスタッフの定着率向上を後押しするサービスです。

### ▽サービスサイト

<https://fuk-ly.com/>

### ▽資料ダウンロード

<https://fuk-ly.com/form/download/>